

令和7年度 第3回第7期松本市地域づくり市民委員会 会議要旨

開催日時 令和7年6月24日（火曜日） 午後1時30分から午後3時00分まで

開催場所 大手公民館 大会議室

出席者（敬称略）

委員 古田成志（委員長）、降旗都子（副委員長）、永塚博、塩原敏宏、堀川聡子、百瀬壽、  
竜田大輝、金正玉、櫻井美智代、赤羽勝、木藤永子、中島麻衣、櫻井利彦  
（欠席：野村茂、一ノ瀬知佐子）

事務局 住民自治局長 甕国人

地域づくり支援課	地域づくり支援課長	上條智久
	地域づくり支援担当	課長補佐 床尾拓哉
		課長補佐 上條亮、主事 稲場毅人
	市民活動推進担当	係長 小岩井一樹
若者参画課	若者参画課長	坂上浩美
	若者参画担当	係長 丸山晴彦
		主事 小山雄聖、主事 小林葵

1 開会

（進行 委員長 古田成志）

2 あいさつ

（委員長 古田成志）

3 会議事項

(1) 松本市市民協働事業提案制度の実施報告

ア 弘法山古墳桜祭り取り止めに伴う交通対策事業について

イ 「集い場ふらっと」を起点としたプラットフォーム構築事業について

（説明 事務局）

<質問等>

（櫻井美智代委員）

- ・ この補助金制度はさほど周知されていないのか。活用が少ないように感じた。  
→（事務局）本制度は補助金ではなく、市が事業者側から協働事業提案を受け、協働事業を行う相手として適切と認めた場合に限り、確認書を取り交わす仕組みである。補助金等とは性質が異なるため、積極的な周知等を行っていない。

(2) 若者チャレンジ応援事業補助金の審査

（説明 若者参画課）

※ 審査内容については非公開

(3) 第7期地域づくり市民委員会テーマ（案）について

（説明 事務局）

- ・ ワーキンググループで議論するテーマ（案）をお示しする。
- ・ ご意見・質問等がない場合には（案）のとおり意向調査を行い、正副委員長とワーキンググループのメンバーを決定したい。

番号	検討項目	現状	検討課題	市の取組み
①	持続可能な自治組織（町会）のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化、人口減少による地域コミュニティの活力低下</li> <li>・ 役員のなり手不足、負担感の増大、町会加入率の低下</li> <li>・ 自治活動、地域活動への無関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町会業務の効率化・スリム化、働きながらできる町会活動の推進</li> <li>・ 町会運営の改善・見直しに求められる行政支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治組織活性化プロジェクト</li> <li>・ 地域チャレンジ応援事業補助金（町会チャレンジの部）</li> </ul>
②	幅広い住民の地域参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員中心、高齢者偏重</li> <li>・ 多様な住民意見を地域運営に反映する機会の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との関わりが希薄とされる層（若者、現役世代、アパート、マンション世帯等）の参加促進</li> <li>・ 既存の枠組み（地区・町会）にとらわれない活動の可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域チャレンジ応援事業補助金（一般チャレンジの部）</li> <li>・ 若者チャレンジ応援事業補助金</li> <li>・ 学生×地域マッチングシステムに関する検討</li> </ul>
③	多様な主体との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業、NPO、地元関係機関等と連携した取組みの不足</li> <li>・ 市民活動団体、NPO等の活動内容に関する情報不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域と多様な主体（企業、NPO等）との協働を促す仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民協働事業提案制度</li> <li>・ 市民活動サポートセンター</li> <li>・ 地域重点プロジェクト事業補助金</li> </ul>

<質問等>

特になし

(4) その他

（説明 事務局）

- ・ 事務連絡について

（以上）